

部会名	令和7年度 第1回富士北麓圏域障害者自立支援協議会全体会 (記録:基幹相談支援センターふじのわ)
日 時	令和7年11月19日(水) 13:30~
場 所	富士河口湖町役場コンベンションホール
欠席者	三浦誠氏、三浦宗治氏、伊藤正範氏、岡本太郎氏、千野由貴子氏、田村正人氏、金丸美奈江氏、堀内千波氏
議 題	令和7年度 上半期活動報告及び検討事項について
協議内容	<p>協議内容</p> <p>1) 令和7年度上半期専門部会活動報告 (資料参照)</p> <p>①防災部会 資料 P1-3 ②就労支援部会 資料 P4-6 ③児童部会 資料 P7-9 ④相談支援部会 資料 P10-11 ⑤地域移行部会 資料 P12-14</p> <p>○質問意見</p> <p>➤ 全部会に通じると思うが、行政との関係性が見えづらい。それそれでやっている内容は素晴らしいが行政の計画にどの程度近づいているのか?評価は?</p> <p>地域移行部会について、国の動きとして本人の意向確認等が義務化となることについてどう考えているか。アセスメント・本人の意向に沿いどこに住むのか検討しているか?</p> <p>地域に住むための資源について検討しているか?</p> <p>⇒回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災部会…福祉計画の評価について、防災に関してそれぞれの市町村が謳っているところがバラバラのため難しいが年に一度協議している。市町村の関わりについて、現時点では富士吉田市の安全対策課との協議・数年前から富士河口湖町と協議している。 ・就労支援部会…令和6年度と令和7年度の市町村障害福祉計画についての就労支援について実績評価を行っている。福祉計画を策定する際に部会の意見が反映されているかが課題である。 ・児童部会…事業所・医療的ケア児グループに分かれており、事業所グループでは市町村担当は参加していないが、部会からの意見を全体会・定例会を通して市町村に持ち帰ることができていると考えている。医療的ケア児の支援についても協議の場を持ち、6市町村の意見を取り入れたい。

- ・相談支援部会…9月に実施した勉強会に行政担当に参加してもらった。福祉計画については下半期に検証の予定がある。次回策定時に参考にしていただけるような意見出し等を行っていきたい。

- ・地域移行部会…6市町村担当及び事業所が参加。地域包括PTにより、精神科長期入院患者のケース検討を行っている。本人が退院希望となつても家族不在により自宅に戻れないケースなど、アセスメントにより本人にとってよりよい環境での地域移行を検討していく。
6市町村で、一般相談の発動に関しても開きが見受けられる。ある程度の基準が出来ればと考えている。

- 長期入院者について人権侵害である。事業所レベルではなく、行政で考えていくべきではないか。行政より意見を伺いたい。

- ・富士吉田市…令和9年より新しく福祉計画が始まる。部会・行政で話し合っていく。
- ・富士河口湖町…1名の長期入院患者について役場、ふじのわのスタッフで訪問面接を実施し、本人、病院とともに退院に向けた検討を行っている。本人、家族、病院、地域の支援者の間でも方針のずれがあり、退院先の決定など、方向性の統一には至っていない。退院支援に当たり、支援者だけで決めるのではなく、本人の意思決定を支援することも重要であり、本人の意向をくみ取りながら地域で提供できる支援について検討することが重要である。
- ・西桂町…長期入院患者について、協議会でのケース検討により、当事者の意思確認・課題を検討し支援していく。
- ・山中湖村…村内に長期入院患者はおり、地域移行部会での取組をフィードバックし、他市町村と足並みを揃え、一般相談の発動の基準・水準も引き続き協議していく。
- ・鳴沢村…長期入院患者が数名おり動きだしている。本人の意思確認し進めていきたい。
- ・忍野村…長期入院患者について数名おり、本人の状況等を面談等で確認し、課題等を自立支援協議会での協議・検討し、対応していく。

- 担当者としての把握の状況はわかったが、計画に入れるとときに具体的な内容を行政にも把握してほしい。
意思決定支援会議を標準化してほしい。

2) 令和7年度上半期富士北麓障害者基幹相談支援センター実績報告
(資料 P14-19)

- 成年後見制度について、各市町村において中核機関として最終的には後見人のサポートをしていく役割があるが、設置状況を伺いたい。
 - ・富士吉田市…中核機関として R6 年度から健康長寿課と福祉課で連携し運営している。メインは健康長寿課である。市の直営である。
 - ・富士河口湖町…未設置。ケースについては、地域包括支援センター・福祉推進課で対応している。
 - ・西桂町…未設置。5月の全体会での課題として課内に持ちかえり検討中だが、小規模設置の事例がなく苦慮している状況。相談し、アドバイスをいただきたい。
 - ・山中湖村…R5 年度設置。
 - ・鳴沢村…未設置。今後検討すべきと考えている。
 - ・忍野村…R7.4 月設置。地域包括支援センターで相談を受け付けているが、今の時点で相談者なし。
 - 小規模市町村では難しいところがあると思うが、県でアドバイザー派遣制度がある。昨年度は 3 つの市町村で活用され、派遣実績あり。小規模なところでは丹波山村に派遣を行った。まずは相談から始め、専門職に相談しながら徐々に支援を広げていけばよいのではと思う。設置市町村においても、専門職による無料相談があるので活用してほしい。
- 成年後見人制度について、県でワーキングチームとして活動している。未設置の市町村においては今年度を最後に設置する必要がある。地域の権利擁護の課題になっていくのではと考えられる。
- 基幹相談支援センター実績報告の課題点（P19）について SNSを通じた問題、家族関係の問題、地域の支援のつながり方であったり、複合的な課題について国で進めている重層的支援の考え方があると思うが、重層的支援について各行政の方より進捗状況を教えていただきたい。
 - ・富士吉田市…重層的支援について、主に地域福祉担当がメインになっている。市としても相談窓口があったほうが相談しやすいと考えられ、できれば早く設置したいと考えている。
 - ・富士河口湖町…地域包括支援センター・福祉推進課で重層的支援について検討を進めているが、実施できていない。ケースがある場合には協議を行っているが、中心になって動く担当がおらず難しい状況である。
 - ・西桂町…お恥ずかしい限りだが全く手がついていない状況である。
 - ・山中湖村…重層的支援の設置案はなされていない。小さい市町村のため

各課との連携はしやすいが、今後検討が必要と考えている。

- ・鳴沢村…特に具体的な動きはできていない。地域運営ネットワークというものがあり、連携はしているが、設置について今後検討が必要である。
- ・忍野村…重層的支援事業について、窓口の一本化は出来ていないが、母子から高齢者まで、同じ保健センターの職員がいるため、関係者同士の連携が可能である。

○中核機関の設置についての課題と一緒にで小さいところから始めていくべき。すでに重層的な関わりをしてきた実例はあると思う。基幹相談支援センターでとらえたことに対し行政がどう横断的に関わられるのか。社会福祉士会のような専門職集団に相談していただければと考えている。

3) 令和7年度上半期6市町村担当者プロジェクトチーム活動報告

(資料 P20-21)

○質問・意見なし。

4) 地域生活支援拠点等事業の見直しについて

(資料 P26)

5) 次年度自立支援協議会の見直し案について

(資料 P27-30)

○質問・意見なし。

6) 障害者虐待防止に係る県への申し入れについて

(資料 P31-32)

○質問・意見なし。

7) その他

➢ 富士吉田市視覚障害者協会より

6市町村の皆さんに質問したい。昨今の物価高騰に伴い、障害者の日常生活用具・補装具が値上がりしている。(助成・補助の)金額等の見直しについて検討されているか。

前向きに検討していただければありがたい。

- ・富士吉田市…今後行う予定の今年度の6市町村課長会議において、日具等の見直しの課題についてかけようと考えている。このところ見直しをしていなかったが、来年度は見直しを予定している。

- ・富士河口湖町…単価等見直しについては本日担当不在のため、お答えできない。近隣市町村と協議しながら、見直しを考えていく考えであるが

詳しいお答えは控えさせていただきたい。

- ・西桂町…補装具・日常生活用具の見直しについては、補装具については国の制度に基づき、年度初めの金額見直しに沿って見直す予定である。日常生活用具について近隣市町村と足並みを揃えていくよう努める。
- ・山中湖村…西桂町と同様である。
- ・鳴沢村…西桂町と同様である。
- ・忍野村…西桂町と同様である。

○6市町村、それぞれで検討してくださることで大変ありがたく感じております。検討していただけますよう、切にお願いいたします。

以上

次回予定

次回の全体会は、令和8年5月20日（水）に行う予定であるが、開催の場所・日時等は未定のため、追ってご連絡致します。